



1月

2025年1月1日
編集・発行
ウィーン岐阜合唱団

明けましておめでとうございます

ウィーン岐阜管弦楽団・合唱団

音楽総監督 平光 保



本年もみなさんとともに新しい年を迎えることができたことを、心より感謝いたします。

今年は、新年早々、ニューイヤーコンサートとして“第九”を行う事になりました。

年末に“第九”が定着しているのは日本だけ。新しい年の“夜明け”として新年に行うのも新鮮で良いかも知れません。久しぶりに 全楽章に取り組むのも新鮮です。

ウィーン岐阜管弦楽団のチェロのトップ奏者山田真吾氏は、「平光マエストロの”第九”は、神がかり。」と申しておられます。うれしい限りです。

以前、ウィーン国立音楽大学の教授カール・エーステライヒに、レッスンをして頂く機会に恵まれ、「君の指揮は、お客様に感動を呼び起こしますね」と誉めて頂いた事を思い出します。

ヨーロッパ“第九”音楽友好の旅の第1回目は、北ボヘミアフィルハーモニー管弦楽団で指揮をした際に、チェコの音楽評論家パヴェル・スヴァルク氏から「たった1日のリハーサルで、演奏者に高い音

楽性を引き出し、演奏当日では暗譜で指揮、予想もしない高い出来栄へと導いた。」と、絶賛されました。

その後の岐阜でのコンサートも、『こんな素晴らしい指揮者が岐阜にもいるんだ』と始まった「上山語録」を初め、私の指揮を見たいという方が何人もいと伺っています。

今年12月7日には、佐世保での“第九”も控えております。私の特徴を活かして全力で取り組みたいと思っております。夏の定期演奏会は、久しぶりに“山に祈る”です。私が日本音楽コンクール作曲部門で2位になった時の審査員であった清水脩先生(自筆のサインをウィーン岐阜ホール玄関で見ることができます)の作品です。実話を元にした音楽的にレベルの高い作品です。きっとお客様に大きな感動を与える演奏会になる事でしょう。

今年もウィーン岐阜合唱団へのご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

団員の皆さま

新年明けましておめでとうございます。

ウィーン岐阜合唱団 団長 白井 博育



2025年は巳年です。脱皮をくり返すへびは、生命力や再生のシンボルとして、困難を克服して運気を上げる象徴とされています。あやかりたいものです。昨年もいろいろありました。日々の生活の中、喜んだり、悲しんだり、憤慨したり、舞い上がったり、喜怒哀楽の世界の中で着実に且つ、凄い勢いで歳をとってきました。

よくよく考えてみると、私の場合生活の一つのルーティンというか、生活が回っているパターンは、合唱団の木、金の練習が基本になっている事に気づきました。

あっ、もう明日は木曜日か！と驚くと同時にまた、歌が歌える、合唱でハモれる、皆と話ができる、この楽しみ、喜びが金曜日を含め毎週巡ってきます。これを13年間やってきて身体に染みつき生活のリズムになってきました。

昨日はよく眠れたから今日は良く声がでる、疲れと睡眠不足で声がかすれる、ソロで高い声がでない、どうしたらいいのか。

過去に水が気道に入りムセたりしたので、毎日、誤えん防止のため喉を鍛えています、喉をきたえるのと高音域の発声は別で課題が残ったままです。

誰かが筋肉はいくつになっても作れまうと言ったように、高音域はいくつになっても出るようになる事を信じ、最近、昔録音した男性声楽家の発声指導の下、ほぼ毎日発声練習をしています。

やはり、歌は毎日のように歌い、年をとればとるほど喉の衰えを防ぎ、声をさび付かせない事が必要と感じています。

合唱を愛する私たちの周りには声、喉に関する情報が沢山あります。

そのいくつかを照会すると、12/8特別強化練習での伴真由子先生の「素敵な響きの声を手に入れるためのステップ」の教材です。

- 1.良い姿勢で立つ
- 2.腹式呼吸（歌う呼吸・横隔膜呼吸）で歌う
- 3.のどを開ける歌い方、口の開け方（各母音の口と舌の形）をマスターする
- 4.さあ、歌ってみましょう

この教材、お持ちでない方は真由子先生の許可ができればさしあげます。

もう一例は、ご存じの方も多いと思いますが、2024.11.14 NHK

「あしたが変わるトリセツショー&喉のアンチエイジング術」

声と喉のトリセツ“トリセツ流ハミング”で声が通る

トリセツ流ハミングをおさらい

- ① 顎を引き耳が肩の真上にくる姿勢
- ② うなじと鼻に振動を感じながら「ん～」とハミング
- ③ 口の奥にうずらの卵 1 個分のスペースを開けるイメージ

それをやり易くするには、口を少しすぼめ鼻の上辺りから声を出す感覚

- ④ 1 セット 5 秒×10 回 1 日 2～4 セットを 2 週間続ける

私にも少し希望が見えてきました。続けたいと思います。

さて、1/26 の第九演奏会が迫ってきました。今回、久しぶりに第九は全楽章でオケも 40 人を超える編成です。私は、毎週の岐阜と大垣の練習人数を記録していますが毎回 70 人弱の出席者数です。

少なくとも 100 人以上いないとオケに

負け声が通りません。

昨年の第九は 4 年ぶりということもあって何としても成功させなければとの思いと、先が見通せない中、背水の陣で臨み児童も入れると 150 人規模の編成で成功裏に終了する事ができました。

翻って今年はどうか。前述したように普段の練習人数は 70 人弱です。これでは第九を歌う体をなしていません。今からでも遅くはありません。昨年の第九に参加された人を精査して呼び戻し登壇依頼する事が必要です。

最後に 2024 年の主な団行事を列記し新年のご挨拶とさせていただきます。

1 月 総会 会計監査

6 月 1～2 日合宿 コージュ高鷲

8 月 定期演奏会不二羽島文化センター

10 月 22～23 日紅葉ツアー



イギリスから思いがけない
来客を迎えて

大垣 ソプラノ 大澤 悦子
で

昨年 11 月 30 日、イギリスから、ウェールズ合唱団のフランクさんが、お誕生旅行を兼ねて来日され、日本の合唱練習に興味を持たれ、ウィーン岐阜合唱団大垣（大垣南地区センター）の練習を見学されました。合唱練習前に、フランクさんがアカペラで歌われ、温かい響きあるソフトな声に合唱団員は聴き入ってしまいました。その後、練習の仲間に入られ、オーケストラを意識したきめ細やかな平光先生のご指導に、フランクさんも酔いしれて盛り上がり、和やかな雰囲気ですべてを共に過ごすことができました。きっと、イギリスの合唱団に平光先生の丁寧でレベルの高いご指導を伝えられることでしょう。

感動した私はフランクさんに、お誕生祝いに、手作りの品をプレゼントしおわかれしました。



錦秋愛でる白山と上高地の旅

岐阜 ソプラノ 新田 ひとみ



木々の色づくに深まる秋を感じるころ、ウィーン岐阜合唱の紅葉ツアーに参加しました。

行き先は「白川郷・乗鞍方面」一泊二日のバス旅行です。大垣と岐阜から観光バスに乗り、わき合い合いのなか総勢 21 人で出発です。早々平光先生からは、今旅行のお楽しみ処をお話いただき、ますます期待が高まります。

バスは東海北陸道を通り、白川郷の忠兵衛で昼食を取ったあとは、白山白川郷ホワイトロードから、一路白山展望台・ふくべの大滝を目指します。

ここは、東海北陸道屈指の紅葉の名所であり、霊峰白山を拝む山岳絶景ドライブロードです。紅葉は遅れているものの、曇天の空を跳ねのけるような多彩で華麗な絵模様に、思わず歓声が上がります。勇壮な岩肌とのコントラストが七本の滝とコラボし、美しさを一層際立たせます。なかでもふくべの大滝は、落差 86m のダイナミックな姿を見せ、その全貌に圧倒です。

全身にマイナスイオンを浴び、心もお肌も潤ったあとは、一日目を終えてペンションマドンナに到着です。ヨーロッパ風の白い壁と屋根の上の風見鶏が、私達をお出迎えです。

いち早く、福井県在住のヴァイオリニスト大久保ナオミさんとご主人も駆けつけられ、夜にはワクワクするようなコンサートの開演です。

まずは「愛のあいさつ」から始まり「タイスの瞑想曲」「ラ・クンパルシータ」など、おなじみの曲を演奏されました。名器アマティから繰り出される、まろやかで心地よい音色は、平光先生のピアノ伴奏と絶妙なアンサンブルを奏でます。ご主人のサポートが微笑ましく、アットホームな共演に時の経つのも忘れます。そのほか平光先生によるピアノ独奏や、本邦初演の独唱もあり、お得感満載のコンサートでした。

夕食はこだわりのフルコースディナーに舌鼓を打ちながら、皆さんお得意の歌を歌われたり舞踊を披露されたりと、最高の友とワイワイ盛り上がった楽しい宴でした。

二日目は予想通りの雨模様。乗鞍エコーラインから畳平へ…の日程は、行き先を上高地に変更して出発です。フロントガラスに打ち付ける無常の雨に、恨めしさが募ります。誰もが諦めかけて雨具を準備するも、下車するころには幸い傘の出番なしで散策することができました。

まさに奇跡！雨雲も晴女さんの威力にまいったのか、晴神様のご加護でしょうか。何はともあれ、皆さんの日頃の行いが良かったことに尽きるのでしょう。

「河童橋もカッパなしで行ける！」ご想像通り、平光先生お馴染みのダジャレが飛び出します。一応笑いあり、聞こえないふりありと、皆さんそれぞれの気遣い対応はさすがです。

目指す河童橋は、周りの風景と調和する木製の吊り橋で、大自然と融合した姿はまさに上高地のシンボルといえる風格です。雄々しくそびえる穂高連山の大パノラマに息をのみ、いつまでも抱かれていたい気持ちになります。

この穏やかな顔の裏に、山々は雪山登山の厳しさを秘めています。それを物語るかのように、バスターミナル横に「山に祈る塔」がひっそりと佇んでいます。これは北アルプス南部の山で遭難して亡くなられた方々を慰霊し、山の安全を祈念して建立されたものです。

図らずも、来年の定期演奏会で私達は「山に祈る」を歌います。遭難者の遺族の手記を基にしてつくられた組曲に涙し、胸が詰まる思いを経験するのも、そう遠くないことでしょう。この地を訪れることになったのは、ここに眠る魂が呼び寄せた必然ではないかとさえ感じました。

銅板に刻まれた方々のご冥福をお祈りしながら帰路につく時、今ある自分の何気ない日常の尊さが身に沁みます。生きている幸せや合唱の楽しさ、仲間と集える日常のありがたさを実感したのは、きっと私だけではないでしょう。なごりを惜しむ雨さえ旅の友とし、団員以外でご参加いただいた方々とも、良いご縁ができたのではないかと思います。

行き届かないことも多々ありましたが、あたたかいご配慮やご協力をいただき、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

“ウィーン岐阜合唱団の紅葉ツアー”それは音楽と親睦と観光と心のリフレッシュ…などなど。

私達の五感を満たし、人生に潤いをもたらす魅力が詰まっています。

平光先生が貫かれている「音楽で人生をより豊かに」を合言葉に、これからも様々な活動に多くの皆様とご一緒できることを願っています。

輪中生とウィーン岐阜管弦楽団のコラボ音楽祭



大垣 アルト 野原 奈緒美

12月5日(木)、私の勤務校である輪之内中学校音楽祭午後の部に、ウィーン岐阜管弦楽団をお招きしました。(午前の部は学級合唱発表会をし、全校で鑑賞しました。)

演目

1. 管弦楽団による演奏
2. 指揮者体験コーナー
3. 全校合唱「夢の世界を」
4. 1年生学年合唱



「Let's search for Tomorrow」

5. 2年生学年合唱「名づけられた葉」(加賀さん作曲)
6. 3年生学年合唱「大地讃頌」
7. アンコール

素敵なドレスや凛としたスーツを纏い団員が入場。平光先生の合図で1曲目が始まり、指揮をしながら平光先生が登場。オケの音色がとても鮮明で、聴き入ってしまいました。2曲目は伴先生が不意を突いて客席から登場。「子どもの世界」「エーデルワイス」を歌唱。この曲はアルトリコーダーで取り組んだ曲なので、生徒たちにとっても馴染みです。指揮者体験コーナーでは、応募者多数のため抽選会で選ばれた2年生、3年生の男子生徒が交代でベートーベンの「交響曲第5番ハ短調」の提示部、第1主題を振りました。体験を終えた2年生の男子生徒は、「指揮者は、演奏全てを任せられているんだなと感じた。以前指揮者の振り方を見たことがあって、音を伸ばすときに手を小刻みに揺らしていたので、ジャジャジャジャーの動機でやってみたら、オケの人が振りに合わせて音を伸ばしてくれたので、とても気持ち良かった。難しかったけれど、僕が演奏を創っているんだと優越感に浸れた。」と感想を述べてくれました。その後、

平光先生の指揮で本物の「運命」が演奏されると、ホルンやファゴットなど、普段聴くことがない楽器や、弦の音色が美しく響き渡っていました。もちろん、平光先生の指揮にも釘付けになり、先生の偉大さを感じました。

次は、生徒とオケとのコラボです。全校合唱「夢の世界を」は、会場全体に響き渡る音がとても爽やかで一人一人が自分の音を出し切って歌っていました。その後の各学年合唱も、オケと合わせて歌うことを楽しみながら、そして、この楽器が自分たちのパートを弾いている、と音を感じ取りながら、テンポを合わせ、表現することに集中して歌い切りました。ある女子生徒は、「リハーサルもなくオケと合わせるのは心配だった。ピアノの伴奏とは違った感じだったけれど、指揮者と一体となって歌っている感じがワクワクした。いつもよりいろんな楽器の音が鳴っていてとても楽しかった。」と話していました。

毎年行っている音楽祭でしたが、総勢21名の団員の方々にお手伝いいただき、迫力のある音楽祭になりました。伴先生にも歌声だけでなく司会進行やアドリブでの繋ぎトークなど、会を盛り上げていただき、生徒たちも大満足でした。また、遠方より合唱団の方にも見に来ていただき、感激でした。今年、特活指導部長になり、楽団を急遽変更し、伴先生と打ち合わせを密にしながら企画しましたが、楽団の良さを輪之内に広めることができ、大好評で終わることができました。来年もぜひ、お願いしたいと考えています。

1月～3月 練習予定

準備が先 声は後

岐阜会場 長森コミュニティーセンター	大垣会場 大垣市南地区センター		各務原会場 ウィーン岐阜ホール（ときめき）
木曜日（18：30～20：30）	水曜日 （10：00～12：00）	金曜日 （18：30～20：30）	日曜日（14：30～16：30） ●第1日曜日のみ10：00～12：00
1月2日 休み	1月1日 休み	1月3日 休み	1月5日 ●10:00～12:00
1月9日	1月8日	1月10日	1月12日 合同強化練習へ
1月12日(日) ★強化練習	長森コミセン 13：30～16：30		
1月16日	1月15日	1月17日	1月19日 合同強化練習へ
1月19日(日) ★強化練習	長森コミセン 13：30～16：30		
1月23日	1月22日		
1月24日(金) ★オケ合わせ	長森コミセン 18：30～		
1月25日(土) ★前日練習	北部コミセン 13：30～16：30 岐阜市八代1-11-13 (058-233-2110)		
1月26日(日)	NewYear第九演奏会		
1月30日 休み	1月29日 休み	1月31日 休み	2月2日 ●10:00～12:00
2月6日	2月5日	2月7日	2月9日
2月13日	2月12日	2月14日	2月16日
2月20日	2月19日	2月21日	2月23日
2月27日	2月26日	2月28日	3月2日 ●10:00～12:00
3月6日	3月5日	3月7日	3月9日
3月13日	3月12日	3月14日	3月16日
3月20日	3月19日	3月21日	3月23日
3月27日	3月26日	3月28日	3月30日

★1/12(日). 1/19(日). 1/25 (土) の練習開始時間が14：00⇒13：30に変更となりましたので、ご注意ください。

広報委員より

明けましておめでとうございます。

令和7年も団員の皆様のご協力により、よりよい新聞作りに努力したいと存じます。

宜しくお願いいたします。

お問い合わせは広報委員 まで

広報委員 高橋 なお子

白木 政春

e-mail:wien.chorus2021@gmail.com

携帯: 090-9933-0374、fax: 058-294-6114

e-mail:printshiraki@yahoo.co.jp